

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築設計Ⅲ						
科目区分	専門科目	単位数	4	開講時期	前期		
必修・選択の別							
担当者	井原徹、小池博、井上聡、清原昌洋						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模用途の建築をデザインし建築構造ならびに建築設備等の技術的検討を加えることができる。(B6) ・建築の条件と敷地の条件を的確に把握できる。(B6) ・建築の全体と関係付けて細部のデザインを行うことができる。(B6) ・設計された案を適正にプレゼンテーションすることができる。(A7,B6)” 						
日程と内容	<p>”第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、設計のまとめ方等 第2回：課題-1「展示施設」 課題の理解。資料配布 第3回：エスキス指導-敷地条件の理解・建築と条件の確認と立案 第4回：エスキス指導-機能条件の理解・動線処理と機能構成による立案 第5回：エスキス指導-構造計画と設備計画による立案。エスキスの提出 第6回：立体構成-断面による空間構成・プレゼンテーション 第7回：図面提出・プレゼンテーションならびに講評 第8回：課題-2「教育施設」 課題の理解。資料配布 第9回：エスキス指導-敷地条件の理解・建築と条件の確認と立案 第10回：エスキス指導-機能条件の理解・動線処理と機能構成による立案 第11回：エスキス指導-構造計画と設備計画による立案。エスキスの提出 第12回：立体構成-スタディ模型による空間構成の検討 第13回：立体構成-断面図による空間構成の検討 第14回：計画ならびにデザインコンセプトのまとめ 第15回：図面提出・プレゼンテーションならびに講評”</p>						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題	100%		計			100%
	演習						
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模用途の建築をデザインし建築構造ならびに建築設備等の技術的検討を加えることができる。：達成した。 ・建築の条件と敷地の条件を的確に把握できる。：達成した。 ・建築の全体と関係付けて細部のデザインを行うことができる。：細部のデザインが未熟であった。 ・設計された案を適正にプレゼンテーションすることができる。：模型によるプレゼンは達成できた。 						
反省点	建築の最終評価にあたって、模型での評価にウエイトが偏ってしまう傾向がある。来期は設計図書は別に評価する方法を検討したい。						
来年度の計画	教員4名体制で、決め設計教育をすすめたい。 建物のみでなく、敷地や環境に対応した設計ができる。また図面と模型の整合性の向上に努めたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	10点総合評価で平均8点は特に問題ない。しかし、残念ながら設計成果には直結していない。今年の成果を来年度の参考にしたい。						
履修登録者数	75名	定期試験 受験者数	75名	合格者数	69名	合格率	92%